

ペースメーカー等に対し

ご自宅で機械による心電図の観察（遠隔モニタリング）を

させていただいている方へ

当院では、植え込み型心臓デバイス（ペースメーカー等）に対し遠隔モニタリングシステムで検出された心房細動にかかわる臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をもとに行われるものですが、この案内をお読みになり患者様ご自身がこの研究の対象にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自身の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡をください。

【対象となる方】

2018年4月から2020年8月までに植え込み型心臓デバイスに対する遠隔モニタリングシステムを受けられた患者様。

【研究課題名】

遠隔モニタリングシステムで検出された心房細動に関する後ろ向き観察研究

【研究責任者】

三樹 祐子 群馬県立心臓血管センター循環器内科

【研究の目的】

遠隔モニタリングシステムで検出された心房細動の特徴および予後を検討することです。

【利用するカルテ情報・資料】

診療録、年齢、性別、身長、体重、各種検査結果（採血・心電図・心臓超音波検査結果など）、心臓デバイス情報、遠隔モニタリングシステムで検出された情報、心臓デバイス植込み術の術中データを使用いたします。

【研究期間】

2018年4月から2022年3月

【個人情報の取り扱い】

登録されたデータは、お名前、住所などの個人を特定できる情報については削除し、新たに
つけた番号に基づき使用します。研究の結果を学会や学術誌に公表する際は、個人が特定で
きない形で使用いたします。

【問い合わせ先】

群馬県立心臓血管センター循環器内科

担当医師 循環器内科 三樹 祐子 電話 027-269-7455 (代表)